

教育資金を

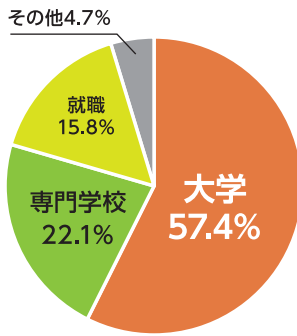


どう積み立てるのか。

日本における高校卒業後の進学率をご存知でしょうか？

大学や専門学校など年数に違いはありますが、約84%(文部科学省 学校基本統計(学校基本調査報告書)令和3年3月卒高校卒業者の進路状況より)の方が高校を卒業された後も何かしらの形で学びを続けています。将来の収入増加や職業の幅が広がる可能性があることから、進学される方が多いと考えられます。しかし、高校卒業後の教育費を日々のやり繰りのみで賄うのは、難しいのが現状です。

卒業後の進路先



高校卒業後1年間の学費(大学の場合)

	自宅				下宿等			
	国立	公立(県内進学)	私立文系	私立理系	国立	公立(県外進学)	私立文系	私立理系
入学金(初年度のみ)	282,000	228,404	229,997	254,309	282,000	392,111	229,997	254,309
授業料	535,800	536,282	785,581	1,105,616	535,800	536,282	785,581	1,105,616
施設設備費	-	-	151,344	185,038	-	-	151,344	185,038
学費合計	817,800	764,686	1,166,922	1,544,963	817,800	928,393	1,166,922	1,544,963
修学費	46,900	45,200	45,000	45,000	50,300	46,300	46,500	46,500
課外活動費	48,500	26,200	28,800	28,800	50,600	27,800	37,800	37,800
通学費	96,500	106,000	97,000	97,000	11,400	16,400	24,300	24,300
食費	111,700	91,200	104,700	104,700	298,800	256,800	281,500	281,500
住居・光熱費	-	-	-	-	507,100	444,200	458,400	458,400
保健衛生費	35,800	37,900	39,900	39,900	37,000	38,800	38,800	38,800
娯楽・嗜好費	141,900	147,300	151,800	151,800	150,600	155,100	159,900	159,900
その他の日常費	133,700	142,300	139,800	139,800	158,300	157,400	161,800	161,800
生活費計	615,000	596,100	607,000	607,000	1,264,100	1,142,800	1,209,000	1,209,000
初年度計	1,432,800	1,360,786	1,773,922	2,151,963	2,081,900	2,071,193	2,375,922	2,753,963
4年間合計	4,885,200	4,757,932	6,405,697	7,844,925	7,481,600	7,108,439	8,813,697	10,252,925

※ 国立大学は文部科学省令第16号「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」より
 ※ 公立大学は文部科学省の「2020年度学生納付金調査」の大学昼間部92大学の平均値
 ※ 私立大学は文部科学省の「平成30年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額(定員1人当たりの調査結果)について」

更に、年齢差の近いお子様方の場合や下宿しての通学となるご家庭では、短期間に1,000万円以上のお金が必要になる可能性があります。定年後も教育費の発生があるご家庭も手厚い準備が必要となります。

お子様の教育費の貯め時は、3歳までと小学生の間の2回あると言われていますが、どのように準備するといいいのでしょうか？

まずは積立原資ですが、1つ目は、中学生までいただける児童手当で約200万円(基準所得以下、2人目までの場合)の準備が可能です。2つ目は、勤務先にお子様の扶養手当制度がある場合には、更に金額を増やすことも可能です。3つ目は、それらに更に上乗せすることにより、たくさんの金額を準備することが可能となります。お金を積み立てるだけでなく、お金を増やすことを考えてみてはいかがでしょうか？利用例としては、下記の方法があります。

定期貯金・定期積金	現在の超低金利下ではあまり増えませんが、確実に準備ができます。
つみたてNISA	スタート時期や商品によっては、元本が増えたり、減ったりします。
子ども共済	契約者に万一の場合の保障が付いています。
JA教育ローン	入学金・授業料や下宿費用・通学費用等にご利用いただけます。

詳しくはJAあいち中央本支店窓口・渉外担当者にお問い合わせください。

執筆者プロフィール



ファイナンシャルプランナー(FP)

おざわ ともえ
小澤 智恵 さん

FPオフィス小澤 代表
愛知県豊田市生まれ。2児の母。

住宅営業時に心残りであった、お客様にベストな住宅ローンの提供をすべく、ファイナンシャルプランナーとしての起業を決意。現在はマイホーム取得・住宅ローン、子どもの金銭教育、修(終)活を中心に活動している。



また、近年ではたくさんの学校を受験する方も多く、受験費用も交通費・宿泊費など進路決定までにかかる費用も高額になる傾向があります。

入学までにかかる費用(大学の場合)

	自宅		下宿等	
	国公立	私立	国公立	私立
出願をするためにかかった費用	130,800	153,900	126,500	145,800
受験のための費用	32,600	30,500	81,500	79,800
入学した大学への学校納付金	653,100	935,600	653,900	936,100
入学しなかった大学への学校納付金	281,800	299,600	276,300	279,400
合格発表や入学手続きのための費用	9,000	10,900	48,300	50,000
入学式出席のための費用	24,200	33,200	55,900	64,000
教科書・教材購入費用	206,100	169,300	234,500	198,000
住まい探しの費用	-	-	204,000	260,200
生活用品購入費用	89,900	82,800	288,800	290,100
その他の費用	125,200	100,400	325,900	259,900
合計	1,552,700	1,816,200	2,295,600	2,563,300

※ 全国大学生生活協同組合連合会「2020年度保護者に聞く新入生調査」平均値より

万が一お金が足りない場合、借入しての支払いとなります。借入者が保護者の場合は教育ローンとなります。JAあいち中央では、教育ローンのお取り扱いも可能です。借入者がお子様の場合は奨学金となり、振込みは入学後のスタートとなります。推薦入試などを利用する場合は入試時期が早いことから、入学前に支払いが必要となる受験費用や入学金・前期の授業料の準備は、高校3年生の秋までを目処に、早めの準備スタートをお勧めします。

我が家が使える制度を上手く活用し、1年目までにかかる教育費は最低限準備しつつ、頑張り続けるお子様をサポートしたいものです。

いい「土」 いい「笑顔」
JAあいち中央



JA あいち中央

検索

<http://www.jaac.or.jp/>